

令和6年度 結果の分析及び今後の改善策(案)

(中間) 最終)

呉市立明德中学校区 校番20 学校名 呉市立明德中学校

重点	d 中期(3年間) 経営目標	e 短期(今年度) 経営目標	l 結果の分析 (結果と課題をこう考えます)	m 今後の改善策(案) (こう改善します(案))
***	授業改善の推進	① 主体的な学びを実現する授業づくり	指標①「授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいると考える生徒の割合」は97%であり、目標値の90%を大きく上回った。このことは、4月に設定した「目標達成のための方策」の1つである、「子どもが進める『めいとく・トライ』の推進」を念頭に置いた授業展開をしていることの成果だと考える。 指標②「学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直して、次の学習に繋げることができていると考える生徒の割合」は100%であり、目標値の90%を大きく上回った。このことは、4月に設定した「目標達成のための方策」の1つである、「特別支援や生徒理解の視点を取り入れた授業改善」を行っていることの成果だと考える。	今後も、教員が「目標達成のための方策」を意識するとともに、研究公開を活用しながらさらなる授業改善を図っていく。
**	防災教育の深化と自己有用感の育成	① 自分の命は自分で守る力の育成 ② 個を大切に支援の充実	指標①「避難する場所や仕方について理解していると考える生徒の割合」は、100%であった。 指標②「地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある生徒の割合」は81.1%と昨年度の79%を上回っているものの、目標値には達していない。総合的な学習の時間で地域との関わりをさらに意識させる必要があると考える。 指標③「自分にはよいところがあると思っている生徒の割合」は87.9%であり、目標値には達していない。自己有用感を高めるための取組や声掛けを工夫する必要があると考える。	指標②について、総合的な学習の時間を中心とした授業や、合同避難訓練、行事等において地域との関わりをさらに意識させていく。 指標③について、道徳や行事への取組を中心に、学校生活全般を通してそれぞれがトライし、「できた」という経験を増やす。
*	安心・安全な教育環境の整備	① 教職員による不祥事の根絶 ② 働き方改革の推進	指標①「日々の業務の中で充実感を得られていると感じる教職員の割合」は、90%と昨年度を超えているが、目標値を達成できていない。 指標②「時間外在校等時間が月45時間を超える教職員の数(3ヶ月平均)」についても、目標値を達成していない。 勤務時間の総時間数は、減少傾向にあり、長時間勤務削減の意識の高まりは感じられる。一方で、業務内容や研究公開に向けた取組への負担感が充実感の得にくさにつながっているのではないかと考える。	100%の教職員が「教職員で業務の手助けなど、互いに頼みやすい雰囲気があると感じている」といった「強み」を生かし、引き続き、「対話による風通しの良い職員室づくり」を基盤として、不祥事の防止と働き方改革の推進により、安心・安全な教育環境の整備を進めていく。